特 許 協 力 条 約

日本国特許庁(国際調査機関) 発信人

代理人

長谷 照一

様

REC'D 3 8 JUN 2005 WIPO

あて名

〒460-0003

日本国愛知県名古屋市中区錦1丁目6番17号 オ リジン錦9F

国際調査機関の見解害 (法施行規則第40条の2) [PCT規則43の2.1]

今後の手続きについては、下記2を参照すること。

PCT

発送日

(日.月.年)

28. 6. 2005

出願人又は代理人

の書類記号

PCT-22

国際出願番号

PCT/JP2005/002625

国際出願日

(日.月.年) 18.02.2005

優先日

(日,月,年) 18.02.2004

国際特許分類 (IPC) Int.Cl. F04C15/00, 2/10

出願人(氏名又は名称)

アイシン・エィ・ダブリュ株式会社

- 1. この見解書は次の内容を含む。
 - 第 I 欄 見解の基礎 V
 - 第Ⅱ欄 優先権
 - 第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成
 - 第Ⅳ欄 発明の単一性の欠如
 - 第V欄 PCT規則 43 の 2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、
 - それを裏付けるための文献及び説明
 - 第VI欄 ある種の引用文献
 - 第VI概 国際出願の不備
 - 第四個 国際出願に対する意見
- 2. 今後の手続き

国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国 際予備審査機関がPCT規 66.1 の 2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさ ない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。

この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日か 63月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当 な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。

さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。

3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。

見解掛を作成した日

09.06.2005

名称及びあて先

日本国特許庁(ISA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区段が関三丁目 4番3号 特許庁審査官(権限のある職員)

3 T

8307

竹之内 秀明

電話番号 03-3581-1101 内線 3395

第I欄 見解の基礎		
1. この見解啓は、下	記に示す	場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。
「この見解書は、 それは国際調査	をのため	語による翻訳文を基礎として作成した。 に提出されたPCT規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の 質語である。
2. この国際出願で開 以下に基づき見解		aつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 とした。
a. タイプ	_	配列表
	Γ.	配列表に関連するテーブル
b. フォーマット	Γ	書面
	Г	コンピュータ読み取り可能な形式
c . 提出時期		出願時の国際出願に含まれる
<u>.</u>	Γ	この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された
	· 「	出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された
3. 厂 さらに、配列 た配列が出願 あった。	表又は配 質時に提り	R列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出し 出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述啓の提出が
4. 補足意見:		
,		•

国際調査機関の見解哲

れておらず、当業者にとって自明なものでもない。

国際出願番号 PCT/JP2005/002625

•	見解			·
	新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	1-5	:
	進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲	1-5	<u>. </u>
	産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 請求の範囲	1-5	

特許協力条約

発信人 日本国特許庁 (国際調査機関)

代理人

長谷 照一

様

REC'D 3 0 JUN 2005 WIPO

あて名

〒460-0003

日本国愛知県名古屋市中区錦1丁目6番17号 オ

リジン錦9F

PCT 国際調査機関の見解告 (法施行規則第40条の2) [PCT規則43の2.1]

発送日

(日.月.年)

28. 6. 2005

出願人又は代理人

の書類記号

今後の手続きについては、下記2を参照すること。

国際出願番号

国際出願日

PCT/JP2005/002625 (日.月.年) 18. 02. 2005

優先日

(日.月.年) 18.02.2004

国際特許分類 (IPC) Int.Cl. F04C15/00, 2/10

PCT-22

出願人(氏名又は名称)

アイシン・エィ・ダブリュ株式会社

- 1. この見解書は次の内容を含む。
 - ▽ 第 Ⅰ 欄 見解の基礎
 - 第Ⅱ概 優先権
 - 第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成
 - 第Ⅳ欄 発明の単一性の欠如
 - 第V欄 PCT規則 43 の 2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、 それを裏付けるための文献及び説明
 - 第VI欄 . ある種の引用文献
 - 第VII欄 国際出願の不備
 - 第四個 国際出願に対する意見
- 2. 今後の手続き

国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国 際予備審査機関がPCT規 66.1 の 2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさ ない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。

この見解告が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日か ら3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当 な場合は補正者とともに、答弁書を提出することができる。

さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。

3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。

見解告を作成した日

09.06.2005

名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区段が関三丁目 4番 3号 特許庁審査官(権限のある職員)

3 T 8307

竹之内 秀明

電話番号 03-3581-1101 内線 3395

第1概	見解の基礎		
1. د	の見解掛は、下部	こに示す	場合を除くほか、国際出願の官語を基礎として作成された。
Γ	この見解告は、 それは国際調査	のために	語による翻訳文を基礎として作成した。 に提出されたPCT規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の昏語である。
	この国際出願で開え 以下に基づき見解		つ請求の 範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 した。
a.	タイプ	_	配列表
		Γ.	配列表に関連するテーブル
b.	フォーマット	Γ	書面
		Г	コンピュータ読み取り可能な形式
c.	提出時期	-	出願時の国際出願に含まれる
		Г	この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された
		. 「	出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された
3. I	「 さらに、配列》 た配列が出願 あった。	表又は配 時に提出	2列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出し 出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述啓の提出が
4.	補足意見:		
		•	
1			·

国際調査機関の見解費

国際出願番号 PCT/JP2005/002625

新規性 (N) 進歩性 (IS) 産業上の利用可能性 (IA) 文献及び説明 請求の範囲 1 — 5 に係れておらず、当業者にと	請求の範囲請求の範囲請求の範囲	1-5 1-5 、	告に引用				記載
産業上の利用可能性(IA) 文献及び説明 請求の範囲1-5に係	請求の範囲請求の範囲請求の範囲	1-5	告に引用				
文献及び説明 請求の範囲1-5に係	日本の範囲 る発明は	、国際調査報行	告に引用		可れの文	で献にも	
請求の範囲1-5に係				された何	可れの文	で献にも	記載
請求の範囲1-5に係				された何	可れの文	で献にも	記載
•							
		•			•		
					-		
	•						
		•		•			
·							
· ·							
		·					
·							
	·	·					
						٠	